


平成26年度
和歌山県立中学校
適性検査Ⅰ

(9:15~10:00)

(注意)

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 2 「はじめ」の合図があったら、まず、受検番号を記入しなさい。
- 3 適性検査は、どこから始めてもかまいません。
- 4 解答は、すべてこの冊子の  で囲まれた場所に記入しなさい。
- 5 計算などは、この冊子の余白を使いなさい。
- 6 印刷が悪くてわからないときや筆記用具を落としたときなどは、だまって手を挙げなさい。
- 7 時間内に解答が終わっても、そのまま着席していなさい。
- 8 「やめ」の合図があったら、すぐに解答するのをやめ、冊子の表紙を上にして机の上に置きなさい。

登場する人物



あきらさん



みどりさん

この適性検査には、「あきらさん」と「みどりさん」が登場します。
二人といっしょに、いろいろな課題について考えてみよう。

研究 1

言葉の使い方について考えよう

あきらさんとみどりさんは、言葉の使い方について話し合っています。



みどりさん、ぼくが書いた卒業文集にのせる作文の下書きの一部なんだけれど、何かすつきりしないんだ。見てくれないかな。



わかったわ。一度読んでみるわね。

【あきらさんが書いた卒業文集にのせる作文の下書きの一部】

家庭科の調理実習では、^{たまご}卵をゆですぎたり、みそしるに入れるとうふをくずしてしまったり、グループのみんなと協力して作ったので、とてもおいしく食べることができました。



そうね。つなぎ言葉を使って、二文に分けて書いた方がいいんじゃないかしら。

課題 1

あきらさんが書いた文を、つなぎ言葉を使って二文に書き直してみよう。



この続きを読ませてもらったけれど、調理実習がきっかけとなって、家でも料理を作るようになったんだね。



そうなんだ。今では、ぼくの料理は、家族からも喜ばれているんだ。将来、料理を作る仕事についたら、きっと成功まちがいなしさ。



その考え、少しあまくないかしら。



考えが「あまい」って、どういう意味なの。



考えが「あまい」というのは、「物事に対する判断や見通しが安易で、厳しさに欠ける。」という意味で使ったの。「あまい」にはほかにも、「みつのような味」「心地よい」「すきがある」などいくつかの意味があるわ。

課題2

「あかるい」も、いくつかの意味をもっています。「あかるい」を使った意味の通じる文と、その文で用いた意味を、(例文) にならって二つ書いてみよう。ただし、(例文) に挙げた「あかるい」という意味の使い方以外で書くこと。

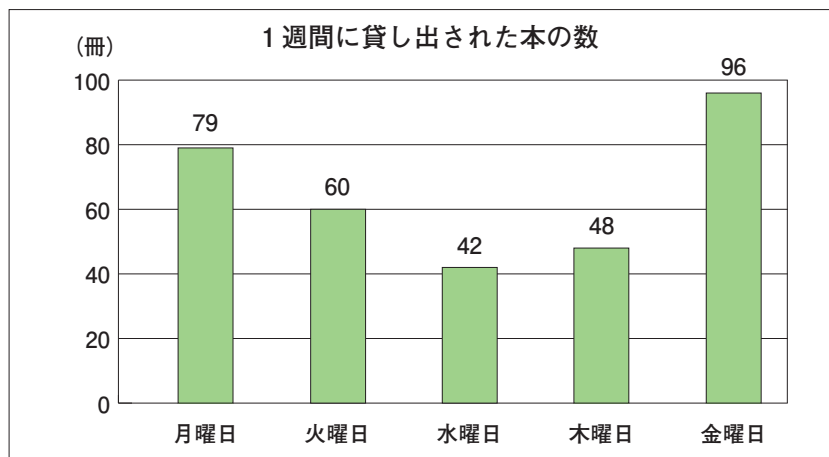
(例文) 「太陽の光が差しこむ部屋は、あかるい。」というときは、「辺りに光があふれて物がよく見える。」という意味で使います。

研究2 読書活動から考えよう

あきらさんとみどりさんは、読書活動を進めるために、学校の図書室から1週間に貸し出された本についてまとめています。



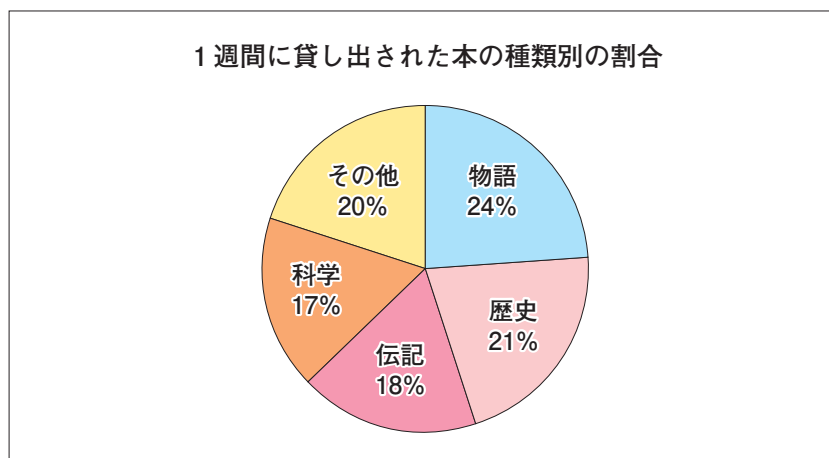
わたしは、1週間に貸し出された本の数棒グラフにまとめたよ。
月曜日に貸し出された79冊のうち、物語の本は20冊だったわ。ほかの曜日はどうなっているのかしら。



本数はわからないけれど、割合だったらわかるよ。火曜日は貸し出された60冊のうち10%が物語で、木曜日と金曜日の2日間では、貸し出された本の合計の25%が物語だったよ。水曜日だけわからないんだ。



ここに1週間に貸し出された本の種類別の割合を示した円グラフもあるよ。これを使うと水曜日に貸し出された物語の本の数わかりそうだね。



課題 1

水曜日に貸し出された物語の本の数は何冊ですか。
ことばや式などを使って、どのように考えたのか説明してみよう。

説 明

水曜日に貸し出された物語の本の数は（ ）冊

みどりさんは、自分の1か月間の読書について発表することになり、その準備をしています。




わたしが1か月に読んだ本は、物語と歴史、伝記の本の3冊で、この3冊の読書時間をあわせると34時間でした。このうち、物語の本はちょうど10時間で読み終わりました。



歴史と伝記の本を読み終えるのに、それぞれ何時間かかったのかな。



歴史の本はページ数が多く、伝記の本に比べて2倍の時間がかかったわ。また、1時間あたりに読んだページ数を調べたら次のようになっていたよ。

1時間あたりに読んだページ数	
	物語の本 25ページ
	歴史の本 20ページ
	伝記の本 28ページ



これを見ると、歴史と伝記の本のそれぞれのページ数がわかりそうだね。

課題2

みどりさんが読んだ歴史と伝記の本は、それぞれ何ページですか。ことばや式などを使って、どのように考えたのか説明してみよう。

説明

(歴史の本 ページ・伝記の本 ページ)

研究3 富士山からさまざまなことを調べよう

あきらさんとみどりさんのグループは、世界遺産に昨年登録された富士山について調べたことを話し合っています。



富士山について調べていると、資料1の絵を見つけたよ。歌川(安藤)広重の『東海道五十三次』のうちの1枚だよ。



この絵を見ると、富士山を見ながら東海道を旅していた様子がわかるわ。このような絵は、当時安く売られていたので、江戸のお土産として大人気だったらしいわ。

資料1 『東海道五十三次』・原(宿)



課題1

江戸時代の文化の特徴と、どうしてそのような文化がさかんになったのかを下のノートにまとめました。
() に適切なことばを入れて完成させよう。

江戸時代(およそ260年間続く。)

中ごろ … 江戸や大阪にあった歌舞伎や人形浄瑠璃の芝居小屋などがたいへんにぎわった。

後半 … 歌川広重の『東海道五十三次』に代表される()と

まとめ よばれる版画が大量に刷られるようになった。

江戸時代には、()による文化活動がさかんになった。その理由は、()からである。

資料2 【富士山が見える都府県】



東海道を旅する人からは、ずっと富士山が見えたのかしら。



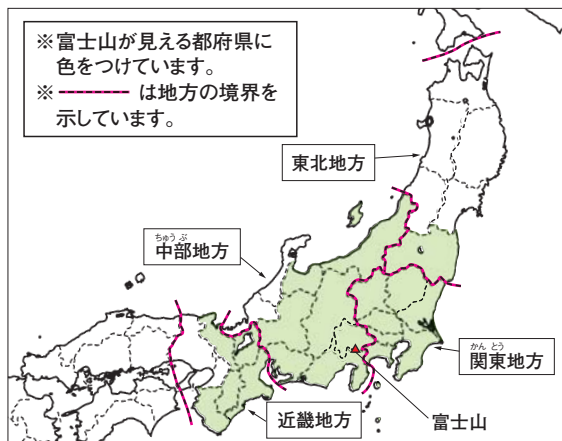
富士山が見える都府県を表した資料2を見つけたよ。



和歌山県では、那智勝浦町にある色川富士見峠から見えるそうよ。



すごいね。和歌山県をふくめて、全部で20都府県から見えるんだね。



(『富士山展望百科』『富士山「発見」入門』から作成)

課題2

資料2に示した東北地方と近畿地方の中で、富士山が見える府県をそれぞれ書いてみよう。(あらかじめ、近畿地方には和歌山県を記入しています。)

東北地方

近畿地方

和歌山県、



富士山が位置しているのは、^{しずおか}静岡県と^{やまなし}山梨県だね。この2つの県と和歌山県の農業について、資料3～5を見つけたよ。

資料3【農業産出額 上位5品目 (和歌山県、静岡県、山梨県)】

順位	和歌山県	静岡県	山梨県
1	みかん	茶 (生葉)	ぶどう
2	うめ	みかん	もも
3	かき	米	米
4	米	荒茶	すもも
5	もも	鶏卵	おうとう

※農業産出額…生産された農産物にそれぞれの価格をかけて計算した金額

※生葉…生の茶葉

※荒茶…生葉を乾燥などさせたもの

※鶏卵…にわたりのたまご

※おうとう…さくらんぼ

※果実にあたる品目を色づけて表している。
 (『農林水産統計 (農林水産省 平成24年度公表)』から作成)

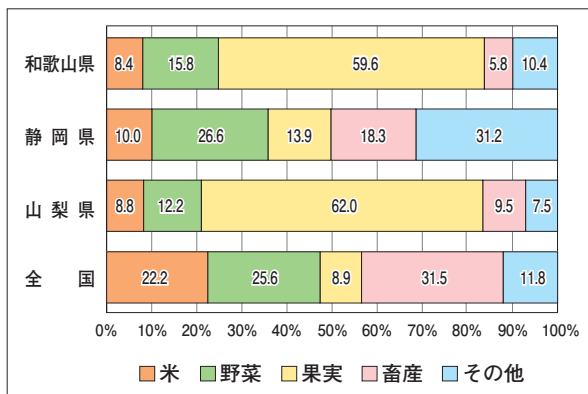


資料3を見ると、和歌山県と山梨県は果実の生産がさかんなことがわかるね。



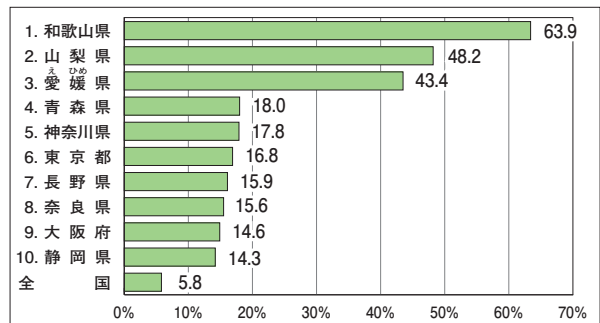
そうだね。資料4や5を使っても、2県とも果実の生産がさかんであることを説明できるよ。

資料4【米、野菜、果実、畜産、^{ちくさん}畜産の農業産出額全体にしめる割合 (和歌山県、静岡県、山梨県と全国)】



(『農林水産統計 (農林水産省 平成24年度公表)』から作成)

資料5【果樹栽培面積の作付延べ面積にしめる割合 (上位10都府県と全国)】



(『農林水産統計 (農林水産省 平成24年度公表)』から作成)
 ※作付延べ面積…田畑で作物を実際に植え付けている面積のこと。同じ田畑で年2回以上作付けされた場合は、それぞれを作付面積とし、合わせて延べ面積とする。

課題3

和歌山県と山梨県が、果実の生産がさかんであることを、資料4と5を使って、それぞれ説明してみよう。

資料4から

資料5から

研究4 身近な自然から考えよう

あきらさんとみどりさんは、校庭の花だんで生物を観察しています。



ホウセンカにアブラムシがたくさんついているよ。アブラムシは害虫で、植物を弱らせることがあるそうだよ。



アブラムシがいたら、近くにテントウムシの姿もよく見かけるわ。



そういえば、畑にアブラムシが増えるとテントウムシを放すことがあるらしいよ。



課題1

生物はたがいにかかり合いながら生活しています。ホウセンカ、アブラムシ、テントウムシの3つの生物のつながりを説明してみよう。

説明



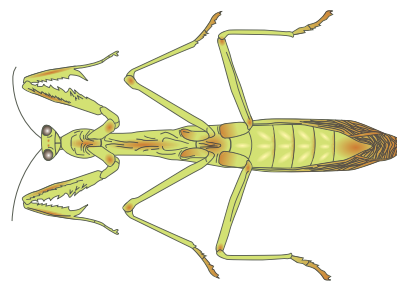
こっちの花だんでは、カマキリがチョウをつかまえているよ。



チョウはこん虫だと習ったけれど、カマキリもこん虫なのかしら。

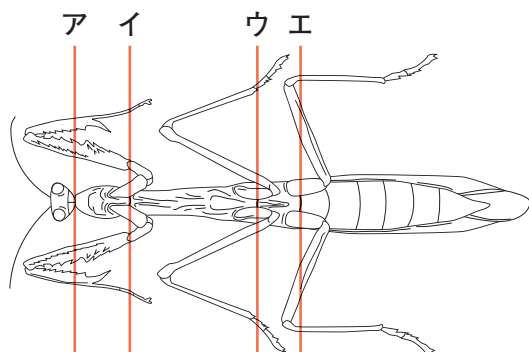


そうだよ。だからカマキリの体も頭・胸・腹からできているんだよ。



課題2

カマキリの胸の部分はどこからどこまでですか。最も適切なものをア～エの中からそれぞれ選び、そう考えた理由を説明してみよう。



記号

胸は から まで

理由



植物が仲間を増やすための工夫について調べてみたよ。植物の種子には、動物に運ばれたり、風で運ばれたり、いろいろなタイプがあるんだね。表にまとめてみたよ。

ホウセンカ	オオオナモミ	アメリカセンダングサ	タンポポ	カエデ
自然にはじける	動物に運ばれる		風で運ばれる	



植物には、いろいろな方法で種子をより広いはんに運ぶ仕組みがそなわっているのね。カエデの種子は、くるくる回って飛んでいくので、おもしろいわよ。



じゃあ、どんな動きをするのかやってみるよ。あれ、同じように落としても、散らばって同じ場所には落ちないよ。



植物にとっては、種子を広いはんに運び、同じ場所に集まらないことが大切なのよ。



課題3

植物にとって、種子が同じ場所に集まらないで散らばる方が都合がよいのは、どうしてですか。その理由を植物が成長する3つの条件を使って説明してみよう。

説明